

坂町文化財 No.19

23回シリーズで坂町文化財保護委員の皆さんが、史跡案内看板設置箇所をご紹介します。見慣れた町の風景に新しい発見がありますように。

まちをぶらり～六字岩～

昔から「六字岩」と呼ばれている暗礁が鯛尾地区の沖合にあります。この暗礁は、1年のうち2～3回だけ大潮の時、姿を見せますが、この名前のいわれは、天正4（1576）年までさかのぼります。

当時、天下統一を目指していた織田信長が大坂石山本願寺を攻略していた折、本願寺に加担していた毛利氏は、水軍を派遣し、木津川河口で織田水軍との海戦に勝利しました。その功により、南無阿弥陀仏と書かれた六字の名号を本願寺から頂き広島に帰る途中、播磨灘で嵐に遭ったため、この名号を投げ入れたところ嵐がおさまりました。そして、広島湾鯛尾の沖合まで帰ったとき暗礁に舵が引っ掛かったため、潜って調べたところ、そこに六字の名号があったそうです。このいわれから坂町ではこの暗礁が「六字岩」と言い伝えられています。鯛尾公園近くの海岸に「六字岩」の案内看板があります。ここまで足を延ばして、往時を偲んでみてはいかがでしょうか。



あたたかい
心のともしび



つぎの方々から、社会
福祉事業資金としてご寄
附をいただきました。厚
くお礼申し上げます。

◎香典返し寄附者
(8月受領分・敬称略)
木村 斉明 (植田三丁目)
古中 邦子 (広島市)

よろこび
おめでとうございます
8月届出分 敬称略

大谷 蛭夏 (坂東二丁目)
宍戸 想人 (坂西一丁目)
木田 依菜里 (坂西一丁目)
小田 智晴 (坂西二丁目)
木谷 緋成 (坂西二丁目)
兵藤 渚月 (横浜西一丁目)

このコーナーに掲載を希
望しない方は、届出の
きに申し出てください。

かなしみ
おくやみ申し上げます
8月届出分 敬称略

細越 啓史 (76) (坂西一丁目)
姫宮 郁子 (88) (坂西一丁目)
久留島 勝 (80) (坂西三丁目)
横奥 春子 (98) (横浜東丁目)
木下 文男 (83) (植田二丁目)
西谷 道子 (82) (小屋浦二丁目)

ハロウィンジャンボ5億円
(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)
ハロウィンジャンボミニ5,000万円
(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。
9月20日 2種類同時発売! 発売期間 9/20③～10/20⑥
抽せん日 10/27⑥
クーちゃん 公益財団法人広島県市町村振興協会 各1枚 300円

今月の休日当番医

診療時間 9時～17時30分 休診時間 13時～14時

日付	坂町・熊野町	府中町	海田町	広島市安芸区
1日 (日)	クリニックたなべ整形外科 ☎884-4155	向洋こどもクリニック ☎287-3266	森原内科胃腸科医院 ☎822-5550	松石病院(整形外科・内科) ☎823-0003
8日 (日)	児玉クリニック (内科・外科・胃腸科) ☎855-4700	やまだ眼科 ☎287-2123	津田産婦人科クリニック ☎821-0303	畑川小児科医院 ☎823-8181
9日 (月・祝)		岡原内科皮膚科クリニック ☎561-0303	菊川皮ふ科医院 ☎823-7111	津丸内科医院 ☎888-4561
15日 (日)	済生会広島病院 (内科・外科・整形外科) ☎884-2566	太田整形外科 ☎510-5107	岸本医院(眼科) ☎823-6298	シラネ外科胃腸科 ☎892-1500
22日 (日)	宗盛医院(内科) ☎854-1111	白根耳鼻咽喉科 ☎510-3322	くすおか整形外科クリニック ☎824-0505	いいだ眼科 ☎822-1146
29日 (日)	だて耳鼻咽喉科クリニック ☎884-4133	みはら内科クリニック ☎286-1177	山本整形外科病院 ☎822-3000	安芸市民病院 (内科・外科・小児科) ☎827-0121

受診を迷うときは、**#8000こどもの救急電話相談** (毎日、19時から翌朝8時まで)、**#7119成人の救急電話相談** (24時間365日) もご利用ください。

今月の納税

口座振替日 10月26日(木) 口座振替の登録をされている方は、口座振替日の前日までに残高の確認をお願いします。	10月31日(火) 町県民税……………第3期分 国民健康保険税……………第4期分 介護保険料(1号)……………第7期分 後期高齢者医療保険料……………第4期分
--	--

坂町の人口と世帯

(9月1日現在)
男：6,129人 (前月比-18)
女：6,606人 (前月比-19)
計：12,735人 (前月比-37)
世帯数：5,808世帯 (前月比-19)

第115回 坂町のいまむかし (秋祭りの風景)



10月といえば、待ちに待った秋祭りが開催される月。コロナ禍で祭りも縮小が続いていましたが、今年は盛大に開催されるようです。



左の写真は、昭和30年代の八幡神社の秋祭りで、寄進の行事を終えた曳船を先頭に、森浜の屋台、浜宮の頂載、中村の屋台を神社側から撮影したものである。この後に、勿条の頂載、西側・上條の獅子、最後に御輿と続き、寄進物が並び揃った時が祭りのクライマックスである。現在も変わらず引き継がれている。



右の写真は、昭和28年小屋浦新宮社の秋祭りで、頂載を囲んで小屋浦青年団が集合している写真である。現在でも、秋祭りへの思いは強く、町外に出た人でも、祭りとなると不思議と頂載を担ぎに地元に戻ってくるという。宵祭りで青年団等が鬼に扮し地区内を駆け巡るのは、小屋浦ならではの風景。最近では忍者も出現し、見応えがある。

『通史(現代)・地理編』『生活文化編』より